

第 20 回 SCCT 研究会 プログラム

2026 年 8 月 19 日現在

第 1 会場 コンベンションホール A

10:25-10:30 (5 分) 開会の辞

第 20 回 SCCT 研究会 当番会長 藤本 進一郎 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座)

10:30-11:00 (30 分) 特別講演【リモートライブ】

「Imaging Inflammation by Computed Tomography: The Last Frontier in the Definition of High-Risk Plaque」

座 長: 藤本 進一郎 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座)

演 者: Jagat Narula (World Heart Federation)

11:10-13:10 (120 分) スポンサーシップシンポジウム

「心臓 CT の未来を考える」

座 長: 藤本 進一郎 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座)

宇都宮 大輔 (横浜市立大学大学院医学研究科 放射線診断学教室)

演 者: 『心臓 CT の 20 年とこれから』

城戸 輝仁 (愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学)

『大規模言語モデルの進歩と画像診断レポート支援: 心臓 CT を含む臨床応用の展望』

中浦 猛 (熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構 総合情報学部門 データサイエンス分野)

『Primary Prevention における心臓 CT の現在地 (と 15 年後の運用)』

香坂 俊 (慶應義塾大学医学部 循環器内科)

『CT ガイド下 PCI』

水上 拓也 (昭和医科大学 薬理学講座 臨床薬理学部門)

『指定発言』

林 宏光 (日本医科大学 放射線医学)

共 催: GE ヘルスケアファーマ株式会社

13:20-14:40 (80 分) ランチョンセミナー

「これからの CT 画像診断を支える最新の取り組み」

座 長: 北川 覚也 (三重大大学大学院医学系研究科 先進画像診断学講座)

演 者: 『CT 画像診断の現在地とその先へ — Area Detector CT から Photon Counting CT への展望 —』

中野 翔太 (キヤノンディカルシステムズ株式会社 国内営業本部 CT 営業部)

『フォトンカウンティング CT 「NAEOTOM Alpha class」 が切り拓く循環器診療の未来』

鈴木 和明 (シーメンスヘルスケア株式会社 ダイアグノスティックイメージング事業本部 CT 事業部)

『最新 CT 技術による画像診断・治療への貢献』

谷越 哲也 (GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 CT 部)

『次世代 AI 技術がもたらす循環器診断への変革』

小川 亮 (株式会社フィリップス・ジャパン プレシジョンダイアグノシス事業部)

共 催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン

14:50-15:10 (20 分) 事務局・委員会報告

座 長：林 宏光（日本医科大学 放射線医学）

報告者：事務局報告 林 宏光（日本医科大学 放射線医学）
国際交流委員会 倉田 聖（四国がんセンター臨床研究センター 循環器内科）

15:15-15:45 (30 分) 特別セッション

座 長：田邊 健吾（三井記念病院 循環器内科）

演 者：『Top 10 papers in 2025-2026』
中西 理子（東邦大学医学部
東邦大学医療センター大森病院 内科学講座循環器内科学分野）

15:55-16:55 (60 分) 教育セッション 1

「冠動脈 CT 解析の進化：現状評価から次世代診断への展望」

座 長：三好 亨（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 循環器内科学）
高木 英誠（東北大学大学院医学系研究科 先進医用画像開発共同研究講座
東北大学病院 放射線診断科）

演 者：『AI を活用した心臓 CT プラーク評価の実際 ― 撮影・解析・臨床応用 ―』
望月 純二（みなみ野循環器病院 放射線技術部）
『冠動脈プラーク定量評価による冠動脈疾患の個別化医療』
橋本 英伸（東邦大学医療センター大森病院 循環器内科）
『冠動脈周囲脂肪減衰指数は心不全進展の予測因子となりうる』
中島 充貴（岡山大学病院 循環器内科学）

共 催：クレアボ・テクノロジーズ株式会社

17:05-18:05 (60 分) 教育セッション 3

「SHD の最新の動向と画像診断の役割」

座 長：河合 秀樹（藤田医科大学 循環器内科）
田所 導子（近森病院 放射線科）

演 者：『CT と ICE で最適化する TAVI 戦略』
金子 智洋（順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科）
『TAVI 術前 CT 計測の概説』
竜崎 俊亘（慶應義塾大学医学部 循環器内科）
『これからの僧帽弁/三尖弁 SHD 治療～CT イメージングの役割～』
岡田 厚（国立循環器病研究センター 心不全・移植部門
Minneapolis Heart Institute Foundation, Valve Science Center）

共 催：アボットメディカルジャパン合同会社

18:05-18:10 (5 分) 閉会の辞

第 21 回 SCCT 研究会 当番会長 宇都宮 大輔（横浜市立大学大学院医学研究科 放射線診断学教室）

第2会場 コンベンションホールB

10:25-11:00 第1会場中継

10:25-10:30 (5分) 開会式

10:30-11:00 (30分) 特別講演【リモートライブ】

11:10-11:58 一般演題1

座長：高岡 浩之（千葉大学医学部附属病院 循環器内科）

富澤 信夫（順天堂大学医学部 放射線診断学講座）

演者：『カテーテルアブレーション術前心臓CTにおける心筋遅延造影画像とECVマッピングを用いた心筋症スクリーニングの試み』

山本 純平（奈良県総合医療センター 放射線部）

『第5世代自己拡張型人工弁を用いた経カテーテル大動脈弁留置術後の弁周囲漏出の予測因子』

小島 基揮（順天堂大学医学部附属練馬病院）

『冠動脈CTAのステント内評価における再構成条件の最適化』

三澤 慎也（みなみ野循環器病院 放射線技術部）

『320列CTを用いた1心拍拡張中期冠動脈CTAにおける回転速度および

モーション補正アルゴリズムのアーチファクトの低減効果』

高柳 知也（高瀬記念病院 放射線部）

12:10-13:10 一般演題2

座長：横山 直之（帝京大学医学部 臨床検査医学）

加藤 真吾（横浜市立大学大学院医学研究科 放射線診断学教室）

演者：『レフレル心内膜炎を右室単独に來した1例』

大原 健太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学）

『心臓CTにおけるSynthetic Hct/ECVの精度に採血とCTの間隔が与える影響』

細川 貴晶（愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学）

『術前心臓CTを用いた左室長軸ストレインは経カテーテル的大動脈弁置換術後予後予測に有用である』

鈴木 克也（千葉大学大学院医学研究院 循環器内科）

『心臓CTで計測される左室細胞外容積分画は左室駆出率の保たれた心不全入院症例において心有害事象予測に有用である』

高岡 浩之（千葉大学医学部附属病院 循環器内科）

『日本循環器学会・日本医学放射線学会 標準冠動脈CTレポートの社会実装：

内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム・CLIDASの取り組み』

的場 哲哉（九州大学大学院医学研究院 循環器内科学）

13:20-15:45 第1会場中継

13:20-14:40 (80分) ランチョンセミナー

14:50-15:10 (20分) 事務局・委員会報告

15:15-15:45 (60分) 特別セッション

15:55-16:55 (60 分) 教育セッション 2

SCCT 研究会・日本心臓 CT 技術研究会合同企画

「その画像、診断に使えますか？—心臓 CT の『質』を再定義する—」

座 長：山口 隆義（華岡青洲記念病院 放射線技術部）

富澤 信夫（順天堂大学医学部 放射線診断学講座）

演 者：『JACTEC が考える冠動脈 CT 画像の質 —質を高めるために必要な技術と知識—』

鷲塚 冬記（東邦大学医療センター大森病院 中央放射線部）

『心臓 CT の診断価値を高めるための撮影・画像解析

—読影医が診療放射線技師と共有したいポイント—』

立神 史稔（広島大学大学院医系科学研究科 先進画像診断開発共同研究講座）

『アンケート報告』

佐藤 英幸（順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線部）

17:05-18:05 (60 分) 教育セッション 4

「新しい CT の使い方」

座 長：真鍋 徳子（自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科）

北川 知郎（広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学）

演 者：『包括的心臓 CT による冠微小循環障害・心筋症診断の可能性』

市川 泰崇（三重大学医学部附属病院 放射線科）

『冠動脈奇譚』

河野 淳（近畿大学医学部 放射線医学教室 放射線診断学部門）

『心筋症に対する CT 画像診断』

常田 慧徳（北海道大学病院 放射線診断科）

共 催：ブラッコ・ジャパン株式会社

バイエル薬品株式会社

ゲルベ・ジャパン株式会社

18:05-18:10 第 1 会場中継

18:05-18:10 (5 分) 閉会式